

令和5事業年度

決 算 報 告 書

第19期事業年度

自：令和 5年 4月 1日

至：令和 6年 3月31日

国立大学法人富山大学

令和5事業年度 決算報告書

国立大学法人富山大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	12,205	12,873	667	(注1)
うち補正予算による追加	-	147	147	
施設整備費補助金	967	656	△ 311	(注2)
補助金等収入	1,879	2,129	250	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	12	12	-	
自己収入	29,568	31,085	1,516	
授業料、入学料及び検定料収入	5,440	4,828	△ 612	(注4)
附属病院収入	23,985	25,985	1,999	(注5)
雑 収 入	141	271	129	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,358	2,738	379	(注7)
引当金取崩	27	46	18	(注8)
長期借入金収入	325	304	△ 21	(注9)
目的積立金取崩	2,207	577	△ 1,629	(注10)
計	49,552	50,423	871	
支 出				
業務費				
教育研究経費	18,939	17,949	△ 989	(注11)
うち基盤的設備等整備分	-	6	6	
うち教育・研究基盤維持経費	-	105	105	
うち年俸制導入促進費	-	21	21	
診療経費	23,980	23,620	△ 360	(注12)
施設整備費	1,304	972	△ 332	(注13)
補助金等	1,626	1,865	239	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,358	2,662	303	(注15)
長期借入金償還金	1,342	1,340	△ 2	(注16)
計	49,552	48,410	△ 1,141	
収入－支出	-	2,013	2,013	

※金額は、百万円未満切り捨てにより作成しているため、合計が合わない場合がある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の追加配分及び前年度からの繰越額が当初見込みより増加したことによる667百万円の増
- (注2) 事業の計画変更による311百万円の減
- (注3) 予算段階で予定していなかった補助金の獲得等による250百万円の増
※補助金等収入には、授業料等減免費交付金が254百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用している。
- (注4) 見込みよりも授業料収入が少なかったことによる231百万円の減、クレジットカード決済納入による入学料の入金ずれ込み等による352百万円の減、見込みよりも検定料収入が少なかったことによる28百万円の減
- (注5) 入院診療単価の向上、外来診療単価の向上、手術件数が増加したことによる1,999百万円の増
- (注6) 財産貸付料収入、特許権等収入、有価証券利息等が増えたことによる123百万円の増、予算段階で見込んでいなかった保険金の入金等による6百万円の増
- (注7) 外部資金の獲得に努め、受入額が増えたことによる379百万円の増
- (注8) 予算段階で予定していなかった引当金の取崩しによる18百万円の増
- (注9) 事業計画の変更による21百万円の減
- (注10) 事業計画の変更による1,629百万円の減
- (注11) 人件費等の執行額が減ったことによる989百万円の減
- (注12) 人件費等の執行額が減ったことや、光熱水費が見込みより減ったことによる360百万円の減
- (注13) 事業の計画変更による332百万円の減
- (注14) (注3)に示した理由による250百万円の増、事業計画の変更により執行額が減ったことによる11百万円の減
- (注15) 受入額の増加に伴い執行額が増えたことによる303百万円の増
- (注16) 金利見直しによる2百万円の減

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費に含めて表示している。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息62百万円は決算報告書上、長期借入金償還金に含めて表示している。